



自治労連四国ブロック協議会 香川県事務所ニュース

〒760-0068 高松市松島町1丁目17-10
瀬戸内ビル2F
Tel. 087-833-7501 Fax. 087-833-7533
E-mail: koumuippan@festa.ocn.ne.jp
http://www.geocities.jp/koumuippan/

香川県事務所単組代表者会議

二〇〇九年度香川県事務所の活動計画を協議

四月四日開かれた単組代表者会議において柳井所長より提案のあった活動計画が協議されました。内容は次の通りです。

1 香川県自治体関連職場の労働情勢

平成の大合併で五市三八町から八市九町へ統廃合されて、三年が経過した。

小泉自公政権の下、「官から民へ」を合言葉に、マスコミを利用した公務員ハッシングで世論誘導して、指定管理者制度を方式をツールにした正規職員の定数削減などの自治体構造改革（集中改革プラン）が強行された。さらに給与カットして人件費を圧縮することで、開発計画温存での財政再建を図っている。

必然として、人的サービスである行政公務労働を非正規職員の増員での運営運用になっている。

また今年、究極の構造改革としての道州制基本法を制定して、国家体制を資本の論理に従属させ多国籍企業本位二〇一〇年には憲法を変えてまで戦争のできる国づくりは公務員を動員させようとしている。

四国 香川でも、経済団体主導で道州制協議会、国民保護 地域防災条例等で肅々とすすめられている。

しかし、アメリカ発の金融危機を端に日本経済の脆弱さが露呈し、新自由主義的構造改革の無理 矛盾が、国民の目に見えるようになり、国政の見直しと共に地方自治体の「地域住民の健康とくらしを守る」役割と公共性の発揮が国民の中で論議になってきた。

政府 地方自治体に憲法を守らせ、国民主権を具現化する民主運動の前進に地方自治体労働者の出番がきている。

「連合」の影響のある香川県で「地域住民の繁栄なくして自治体労働者の幸福はない」とする自治労連運動の飛躍が求められている。

2 香川県事務所の現状

さぬき市職員組合さぬき市民病院職員労働組合を軸にして、県下の自治体関連職場の職員を対象にする香川公務公共一般労働組合で自治労連運動をすすめる、県本部確立を目指している。

毎月、単組代表者会議を定例化して組織強化を図っている。

香川県労連 民主団体と連携 連帯

を図り、全真的に社会認知を図っている。

現勢は、さぬき市民病院精神科病棟閉鎖に伴う組合員の減少、自治体関連職場へは取り組み途中、さぬき市関連職場は一年間の訪問懇談活動で組織拡大の兆候が見え、継続活動で本格基調へ。

単組代表者会議での、構えと一段の戦略 戦術の工夫 強化の意思統一の論議が必要。

3 香川県事務所の体制強化策

組合役員は、組合員や職員職場から情報収集して情勢学習 論議を深めて情勢分析を図り、組合員と共に職場 労働条件の改善 社会的貢献など要求実現の自治労連運動をすすめる、団結を強化する。

組織拡大専任者制度は、本部分局針を真摯に受けとめて原則的な配置での人選に当たる。

専任者の人任せとせず組合役員と一緒に、運動目標と活動計画を具体化して組合員みんなですすめ、専任者の特性を生かしていく。

さぬき市民病院職労の組織強化拡大を軸にさぬき市及び他自治体関連職場の組織化、三木町職への働きかけをし、県本部確立に向けての筋道をたてる。

4 香川県事務所の組織拡大推進策

所長の専任体制と組織拡大専任

者を軸に、宣伝オルグで単組の活動を支援して推進する。

さぬき市民病院職労は、改革プランに示された二〇一〇年度よりの地方公営企業法全部適用へ向けて、今年、職員の過半数を組織するための学習 宣伝 使協議で五〇名拡大。

新規採用者に役員が労働組合の説明をして、過半数加入で弾みをつける。

さぬき市職員組合は、前年同様保育所 児童館 福祉施設の職場訪問懇談を続け、要求実現の取り組みで組織拡大。

香川公務公共一般労組は、自治体関連職場を香川県労連や地方議員と連携を強化して宣伝 説明会 自治体交渉して目に見える活動をすすめる、指定管理者制度導入職場 福祉施設職場 医療施設職場へ働きかける。

三木町職場への取り組みをスゲジュール化する。



二十一世紀を生きる私たちに大切なメッセージ

金子みすゞさんの世界

三月の末、高松市民文化センターで『金子みすゞさんの世界』が開かれていました。

黒を白と言いくるめることに躍起となる現代社会を見るにつけ、自然を素直に優しくそしてときには強く受け止める彼女の詩に感動してしまいました。

金子みすゞプロフィール

童謡詩人金子みすゞは、童話童謡雑誌が隆盛を極めていた大正時代末期。そのなかで彗星のごとく現れ、ひとときわ光を放つ

ていました。

金子みすゞ(本名テル)は、明治三六年長門市仙崎に生まれました。そんな彼女が童謡を書き始めたのは、二〇歳の頃からでした。四つの雑誌に投稿した作品が、そのすべてに掲載されるといふ鮮烈なデビューを飾り、『童話』の選者であった西條

八十に『若き童謡詩人の中の巨星』と賞賛されるなど、めざましい活躍をみせていきました。ところが、その生涯は決して

明るいものではありませんでした。八十年に及ぶ生涯は決して

た。二三歳で結婚したものの、文学に理解のない夫から詩作を禁じられてしまい、さらには病氣、離婚と苦しみが続きました。ついには、前夫から最愛の娘を奪われないために自死の道を選び、二六歳という若さでこの世を去ってしまいます。こうして彼女の残した作品は散逸し、いつしか幻の童謡詩人と語り継がれるばかりとなってしまうのです。

空の鯉

お池の鯉よ、なぜ跳ねる。あの青空を泳いでる、大きな鯉になりたいか。

大きな鯉は今日ばかり、明日はおろしてしまわれる。はかない事をのそむより、跳ねてあがつてふりかえれ。おまえの池の水底に、あれはお空のうろこ雲。おまえも雲の上をゆく、空の鯉だよ、知らないか。

それから五〇余年。みすゞの作品は、児童文学者の矢崎節夫氏の執念により再び世に送り出され、今では小学校「国語」全社の教科書に掲載されるよう

(文責野口)

労働組合とは



労働組合運動史(70年代の労働運動その1)

これまで、終戦直後の日本の労働組合運動の再建を見てきましたが、一挙に歴史を70年代に進めていきます。それまでの労働組合の歴史には、組織的には産別会議の解体と総評の結成、運動の課題では、首切り反対闘争、春闘、公害闘争、革新自治体の誕生などで多くの学びのことがあります。これら50年代60年代のたたかいの高揚、とりわけ60年代には1949年の55.8%という組織率を引き継ぎ、70年まで34.5%前後する組織力とスト権を含む労働三権を行使したたたかいが前進し、70年代の労働組合運動に発展していきました。

政治戦線での被支配勢力の高揚

70年代の始まりは、70年4月に行われた京都府知事選挙という政治戦線から開始されました。支配勢力は京都民主府政を倒すために、自民、公明、民社の三党連合を結成し35億円という莫大な資金を投入し全力を傾けました。これに対し革新の側は60年代の政治・労働分野におけるたたかいの高揚を引き継ぎ、統一戦線を幅広く結成し相手方に14万票余りの差をつけて民主府政を守った。ここでも統一した力が政治の展望を示すものであることを被支配階級は確信しました。

同じ年、安保条約の固定期限が終了し、いつでも破棄通告ができる6月23日を迎えた。アメリカの支配に反対する勢力による、安保条約に反対し日本の中立・平和をめざすたたかいが開始され、6月23日には、社会党、共産党と労働組合、民主団体11団体と個人13名の呼びかけによる「安保条約廃棄宣言、平和、中立、生活擁護をめざす6・23全国統一行動中央大集会実行委員会」が主催した東京集会に22万人が集まり、全国都府県約400地域の統一行動とその他の道府県での自覚的な勢力の独自行動に総計200万人の国民が結集した。この統一行動は60年安保以来の大統一行動となり労働者国民のたたかうエネルギーは大いに高揚しました。

今後の予定

- 4月10日(金)17:30~ おきプロ四国実行委員会オルグ(高知青年部);さぬき市民病院
- 4月28日(火)18:00~ 第4回おきプロ四国実行委員会;愛媛県本部 松山市
- 5月1日(金)10:00~ 第80回香川県メーデー;サンポート高松大ホール
- 5月14~15日(金)13:00~ 第39回中央委員会;和歌山市
- 5月19日(火)13:30~ 四国ブロック(協)幹事会;愛媛県本部 松山市

